

レジオネラ属菌の検査・対策・衛生管理のご案内 (浴槽水・温泉・プール水)



弊団では、レジオネラ属菌検査終了後、検査済証（シール）の発行を行っております。

お問合せ先

一般財団法人
三重県環境保全事業団
科学分析部 管理チーム
〒510-0304
津市河芸町上野 3258 番地
電話番号：059-245-7508
FAX 番号：059-245-7516
HP アドレス
http://www.mec.or.jp/k_bunseki/
オンライン申込
http://www.mec.or.jp/k_bunseki/cate/suido/yokusousui/yokusou_onlin/

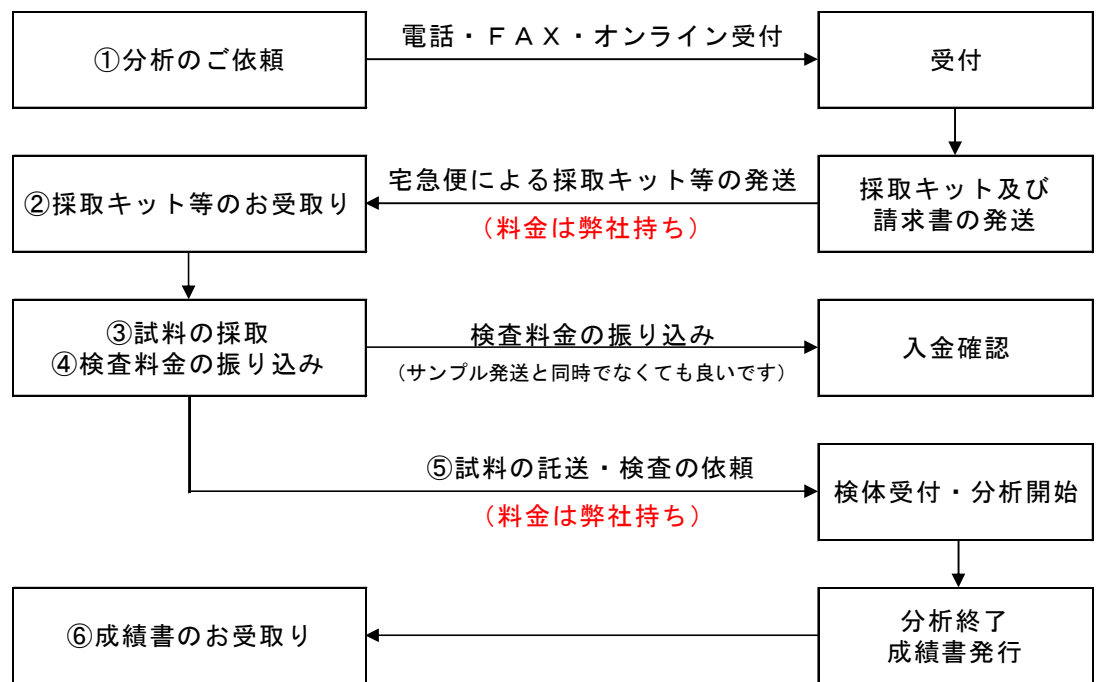


レジオネラ属菌は、自然界の土壌や淡水等に広く生息する細菌であり、周辺から除去することは非常に困難です。そのため、レジオネラ症を予防するためには、感染源となる浴槽設備や機器の衛生管理を徹底し、レジオネラ属菌の増殖を極力防止する必要があります。

特に、抵抗力の弱い老人等が利用する特別養護老人ホームなどの浴槽設備では、レジオネラ症の感染源となる恐れがありますので、徹底した予防対策と定期的に水質検査が必要となります。

弊事業団では、宅配を利用したレジオネラ属菌の検査を 7000 円(税別)、浴槽水 4 項目検査を 10,000 円(税別)とリーズナブルな価格でご提供させていただきます。

浴槽水（レジオネラ属菌）の検査のご依頼方法



浴槽水（レジオネラ属菌）の検査料金

- ・レジオネラ検査のみ：7,000 円（税別）
- ・浴槽水 4 項目：10,000 円（税別）
【濁度・大腸菌・TOC（または過マンガン酸カリウム）・レジオネラ属菌】
- ・旅館業用浴槽水 5 項目：12,000 円（税別）
【浴槽水 4 項目＋アンモニア態窒素】
- ・浴槽原水 6 項目：10,000 円（税別）
【pH・色度・濁度・大腸菌・TOC（または過マンガン酸カリウム）・レジオネラ属菌】

浴槽水の衛生管理方法

1 浴槽水の消毒・換水をしましょう！

浴槽水の遊離残留塩素濃度が、0.2～0.4mg/Lに保たれるように塩素剤（次亜塩素酸ナトリウム等）を注水しましょう。また、注入してから一定後も上記濃度が保たれているように定期的に濃度を測定することが必要です。

循環ろ過装置を使用していない浴槽水および毎日完全換水型浴槽水は、毎日完全換水することが原則ですが、循環浴槽水においても1週間に1回以上、定期的に完全換水をしましょう。

2 浴槽、循環設備（ろ過装置、配管等）の清掃・消毒をしましょう！

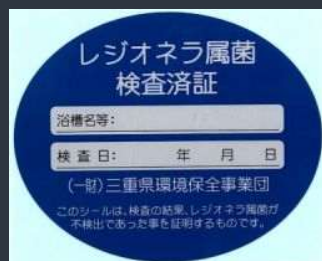
レジオネラ属菌は、浴槽のヌメリ（バイオフィーム）や循環設備のろ剤や配管のヌメリ等に多く生息しやすく、ヌメリ等に保護されると塩素殺菌の効果が低くなると言われているため、浴槽はもちろんのこと、循環設備も定期的に逆洗等の清掃を実施し、消毒をしましょう。

3 定期的な水質検査をしましょう！

疲れを癒す場としてのお風呂を「安心・安全・快適」に保つため、定期的にレジオネラ属菌等の水質検査をしましょう。浴槽水等の検査項目および検査頻度は以下のとおりです。なお、水質検査結果は3年以上保存しましょう。

基準値及び検査頻度

検査項目	単位	基準値		検査頻度	
		浴槽水	原水、原湯、上り用湯及び上り用水	毎日完全換水型	連日使用型
色度	度	-	5以下	年1回以上	年2回以上 (浴槽水の消毒が塩素消毒でない場合は年4回以上)
濁度	度	5以下	2以下		
水素イオン濃度(pH)	-	-	5.8～8.6		
有機物(全有機炭素(TOC)の量)または過マンガン酸カリウム消費量	mg/L	8以下 または 25以下	3以下 または 10以下		
大腸菌		1個/mL以下	検出されないこと		
レジオネラ属菌	CFU/100mL	10未満	10未満		
アンモニア態窒素	mg/L	1以下	-		



弊団では、レジオネラ属菌検査終了後、検査済証（シール）の発行を行っております。